



# 2007 NPO夏の北海道セミナー

**富良野で考える  
市民アートと個や子や〈小屋〉**

**共 催：日本NPO学会・ふらの演劇工房・  
市民メディアサミット07 北海道**

**日 時：2007年9月7日（金）17:00～19:30**

**会 場：富良野演劇工場**

©Photograph by Naoto Yamauchi

◆日本NPO学会

<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/janpora/index.html>

E-Mail [janpora@ml.osipp.osaka-u.ac.jp](mailto:janpora@ml.osipp.osaka-u.ac.jp)

◆ふらの演劇工房

<http://www.furano.ne.jp/engeki/>

富良野で考える  
**市民アートと個や子や〈小屋〉**  
日時：2007年9月7日 17:00-19:30  
於：富良野演劇工場

共催：日本NPO学会・ふらの演劇工房・市民メディアサミット07 北海道

長く中央発の情報やアートに慣れ親しんだ私たちは、  
地域が発するアートのエネルギーやメッセージをとかく見落としがちです。  
地域で子供を育て、いかに個性を発揮しながら生きるためには  
アート環境は必須の社会的インフラ！  
なかでも地域できらりと光る「アート小屋」(劇場、映画館、美術館…)  
のあり方が問われています。市民アートの現場に身を置き、  
自ら「小屋」の運営に関わりながら、地方からアートを発信しつづける  
作家・役者やプロデューサー、そしてNPOの関係者らと一緒に  
「地域発市民アート」を考えてみたいと思います。



昨年の夏、札幌で「第1回」が開催され好評を博した「NPO夏の  
北海道セミナー」、今年は「市民メディア全国交流集会07 北海道」  
と「ふらの演劇工房」との共同開催となります。

17:00-  
主催者あいさつ： 山内直人さん（日本NPO学会会長）

17:20-  
キーノート・スピーチ： 磯田憲一さん（北海道文化財団・元北海道副知事）  
「地域の個性とはなにか」

18:00-  
パネルディスカッション： 富良野で考える「市民アートと個や子や〈小屋〉」

◆〈小屋〉のパネリストのみなさん◆

磯田憲一さん（美唄の美術館・アルテピアッツァ美唄）

太田竜介さん（富良野の劇場・富良野演劇工場）

斎藤ちずさん（札幌の劇場・コンカリーニョ）

中島 洋さん（札幌の映画館・シアターキノ）

漢 幸雄さん（土別の文化ホール・あさひサンライズホール）

◆コーディネータ◆

樽見弘紀さん（日本NPO学会、市民メディアサミット07 北海道）

◆チェロ◆

李 修希さん

◆ピアノ◆

江口きよみさん

19:30-  
懇親会： 富良野の夏を食べるBBQ！！



**キーノート・スピーカー:磯田 憲一**

1945年北海道旭川市生まれ。旭川大学大学院教授。NPO法人アルテピアッツァびばい理事長。1967年に明治大学法学部卒業後、北海道庁へ入庁。以後、北海道生活福祉部生活文化課長、北海道企画振興部企画室参事、北海道総合企画部政策室長、上川支庁長、北海道総合企画部長を経て北海道副知事となり、2002年に退職。北海道庁在職中は、北海道文化振興条例制定や、「時のアセスメント」の発案、BSE 問題対策本部長として全頭検査と一次検査公表などを手がける。現在は(財)北海道農業企業化研究所理事長としても活躍中。



**パネリスト 太田 竜介**

岡山県出身。富良野塾10期生・脚本家志望として入塾。富良野塾の全国・海外ツアーの音響を担当。2000年にNPO法人ふらの演劇工房に舞台技術スタッフとして入社。2002年、富良野演劇工場長に就任。市民演劇の脚本・演出や、ワークショップなどを行っている。



**パネリスト 斉藤 ちず**

「NPO法人コンカリーニョ」理事長。愛媛県生まれ。北海道大学医学部中退。大学在学中に演劇を始め、1995年から演出活動とともに小劇場フリースペース運営開始。ホールマネージャーとして、ダンス公演やフェスティバルのプロデュースを行う。2004年より「ターミナルプラザことにパトス」を、2006年5月より「生活支援型文化施設コンカリーニョ」を札幌市西区にて運営。



**パネリスト 中島 洋**

山口県下関市出身。神戸に育ち、北海道大学入学後、自主映画の制作や上映活動を始める。1992年に市民出資映画館「シアターキノ」を設立、代表を務める。1997年に札幌市民文化奨励賞を受賞。平1999年から全国フィルムコミッション設立研究会委員も務める。



**パネリスト 漢 幸雄**

朝日町役場(現士別)に就職後、あさひサンライズホールのオープンにあわせて教育委員会へ出向。開設準備を経てオープンから企画、運営に携わる。近年は市民、利用者との距離を少しでも近くするための事業として市民参加劇や各種ワークショップを展開。今年度は市内17小中学校へのアウトリーチで40プログラムのワークショップを実施している。



**パネリスト 山内 直人**

大阪大学大学院国際公共政策研究科教授。大阪大学経済学部卒、M. Sc.(英London School of Economics)。博士(大阪大学)。経済企画庁を経て1992年に大阪大学助教授に就任、2002年より現職。専門は公共経済学。著書に、『ノンプロフィット・エコノミー』(日本評論社)、『NPOデータブック』(有斐閣)、『NPO入門』(日経文庫)等。日本NPO学会会長。



**モデレーター 樽見 弘紀**

北海学園大学法学部教授。ニューヨーク大学公共行政大学院修了。立教大学法学研究科政治学専攻博士後期課程単位取得。1999年4月より北海学園大学に勤務。現在、同大法学部および法学研究科教授。専門は行政学、公共政策学、非営利組織論。公職として、他に日本NPO学会理事、北海道NPOバンク理事、さっぽろ村コミュニティ工房運営委員など。

## 謝 辞

このたび、第2回の「NPO夏の北海道セミナー」を富良野市で開催するにあたっては、共同開催団体である「ふらの演劇工房」および「市民メディアサミット07北海道」(並びに、その事務局の「さっぽろ村コミュニティ工房」)をはじめとする様々な市民団体やボランティアのみなさんの温かいご支援・ご協力をいただきました。

とりわけ、森田武理事長をはじめとしたふらの演劇工房の理事・スタッフのみなさんの受け入れのご快諾がなければ「第2回」の富良野開催は不可能でした。ここに深く感謝申し上げます。また、市民メディアサミット07北海道のみなさんの八面六臂の活躍を得てはじめてこのたびのセミナーは彩り豊かなものとなりました。とりわけ、同サミット実行委員長の加藤知美さんは、昨年、札幌で開催し好評を博した第1回セミナーに続き様々なご尽力をいただきました。さらに、ご公務でご多忙の磯田憲一さんのキーノートスピーカーとしてのご出演を根気強く説得下さり、また、2日目のエクスカッション(小旅行)でアルテピアッツァ美唄の早朝からの訪問に途を開いていただきました濱田暁生理事をはじめとした「アルテピアッツァびばい」の関係のみなさまにも心からお礼を申し上げます。

最後になりましたが、本セミナー開催に、南貴子、木村静をはじめとする事務局スタッフが昼夜を問わない働きぶりを発揮してくれました。この場を借りてその労をねぎらいたいと思います。

日本 NPO 学会会長 山内直人  
日本 NPO 学会理事 樽見弘紀

## 日本NPO学会

日本NPO学会(Japan NPO Research Association)は、NPO・NGO、フィランソロピー、ボランティアなどに対する実務的、政策的および学問的関心の高まりに呼応し、1999年3月に設立された学会です。個人会員数は現在約1,200人で、実務家、大学研究者・学生がそれぞれ半数を占めています。本学会では、相互交流、情報発信の中心となるべく、民間非営利セクターの活動に関心を持つ研究者、実務家および政策関係者の幅広い参加を求めています。

日本NPO学会にご入会されると、大会をはじめとする学会の各種行事への参加が可能となります。また、学会の発行するニューズレター、機関誌(ノンプロフィット・レビュー)などの定期刊行物を随時お送りいたします。(大会をはじめとする学会の各種行事への参加は、招待講演者等を除き原則として会員に限られます)。さらに、E-mailアドレスを登録された場合には、年会費が割安になるほか、メーリングリスト(NPO-NET)に登録され、学会事務局からの情報の受信や会員間の情報交換をネット上で行うことができます。

ご入会手続きは、<http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/janpora/application/application.htm> からお願いいたします。ご入会とあわせて、年会費をお支払い下さい。お振込の際は、郵便局備え付けの郵便振替用紙(払込取扱票)をお使い下さい。会費の受領が確認された時点で、会員となる資格が得られます。

### 【振込口座】

郵便振替口座番号: 00950-6-86833

口座名称(加入者名): 日本NPO学会

### 【年会費】

- |            |                                       |           |                    |
|------------|---------------------------------------|-----------|--------------------|
| ● 12,000円  | 一般会員(E-mailアドレスなし)                    | ● 10,000円 | 一般会員(E-mailアドレスあり) |
| ● 6,000円   | 学生会員(E-mailアドレスなし)                    | ● 5,000円  | 学生会員(E-mailアドレスあり) |
| ● 100,000円 | 団体賛助会員(4名まで登録でき、個人会員に準じたサービスが受けられます。) |           |                    |